

薬だつ知識

78

1月1日に石川県の能登半島で最大震度7の地震が起こりました。私は1月17日から5日間、県内の災害支援薬剤師とともに穴水町に派遣されました。全国的には4月1日まで延べ4千人を超える薬剤師と13台の「モバイルファーマシー」が出動しました。これは薬局機能を搭載した災害対策医薬品供給車両で、電気や水が止まっている被災地でも調剤業務と医薬品の供給を行うことができます。

現地での主な活動は二つあります。一つは災害処方箋に基づく調剤です。薬剤師班が避難所へ赴き、モバイル

災害時の薬剤師活動

避難所の衛生管理担う

石川県の避難所で活動する鹿児島県薬剤師会の災害支援薬剤師



ルファーマシーで調剤したお薬と薬の情報を被災者へお届けする活動です。もう一つが環境衛生管理で、空気検査

とトイレの消毒がありました。

空気検査は避難所での二酸化炭素濃度を測定し、換気を促す目安を示す検査です。換気をしないと感染症が蔓延するリスクが高まります。寒さで灯油ストーブを室内で使っている避難所が多いため、どうしても値が高くなりやすく、基準値の3倍の数値を示した所もありました。トイレ消毒はウイルス感染症の予防に役立ちます。実際に、ノロウイルス感染の疑いがあった避難者が使用したトイレを封鎖して消毒を行いました。その他、段ボールベッドの設置も手伝いました。

災害はいつ起こるか分かりません。大事なものは、その時に備えて災害対策用品の準備や防災訓練を重ねることだと思えます。私も石川県から帰還後、職場や自宅の災害対策用品を確認し、足りないものを準備しました。最後になりますが、被災地の一刻も早い復興を願っております。(鹿児島県薬剤師会災害対策委員会・田中孝明)

令和6年5月7日(火)

78. 災害時の薬剤師活動